

## ご利用になる前に必ずお読みください

このPDFファイルの内容についてのご質問・お問い合わせは株式会社アスキー・メディアワークスでは一切お受けできません。ご自身の責任においてご利用ください。



この作品は、クリエイティブ・コモンズの表示-非営利-継承 2.1 日本ライセンスの下でライセンスされています。この使用許諾条件を見るには、<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/>をチェックするか、クリエイティブ・コモンズに郵便にてお問い合わせください。住所は：171 Second Street, Suite 300, San Francisco, California 94105, USA です。

このファイルをクリエイティブ・コモンズの表示-非営利-継承 2.1 日本ライセンスに基づいて利用する際には、下記クレジットを必ず作品や配布物に表示する必要があります。

クレジット：

- 文/吉田史 (Ubuntu Japanese Team)
- デザイン/シオズミタロウ
- 初出/株式会社アスキー・メディアワークス「Ubuntu Magazine Japan vol.04」  
(<http://ubuntu.asciimw.jp/>) 2010年5月31日発行

神バージョンの前評判は本当だった!!

# 10.04の Lucid Lynx

待ちに待った新LTS!  
Ubuntu 10.04の  
すごい新機能を確認だっ!!

●文/吉田 史 (Ubuntu Japanese Team)

# 魅力は大解剖

## 起動ロゴ



▲あまりに速すぎて、きちんと見ていない人もいるだろう起動ロゴ。これが表示されてから数秒後にはデスクトップ画面になっている。

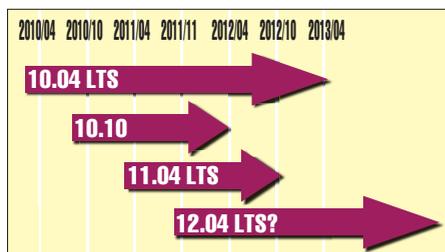
BIOS表示後、よそ見をしていればスグにログイン画面、という感じで、ライバルにあたるWindowsやMac OS Xに比べても圧倒的な速度だ。これは9・04から継続して行われたチューニングの結果で、これだけでも10・04にする価値があるだろう。

**10.04 魅力 1**  
Lucid Lynx

**超・高速起動!**  
ほかのOSを寄せ付けない

**超マッハ!  
高速起動になったぞ!!**

## サポート期間がながーい!



▲サポート期間の図。これから出てくる10.10や11.04よりも長く使えるのだ!

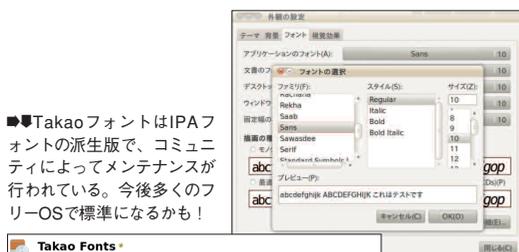
10・04は、Ubuntuで2年に一度行われる「LTS」(Long Term Support=長期サポート版)リリースだ。これは、デスクトップ環境が3年・サーバ環境が5年の間、セキュリティアップデートが提供され続けるもので、通常のUbuntuの1年半よりもはるかに長く使い続けることができる。さらに、10・04からは新たに設計された「LTS専用の開発プロセス」により、アプナイ新機能は投入されていない。長く、安心して使い続けられるリリースなのだ。

**10.04 魅力 2**  
Lucid Lynx

**長期サポート版**  
気に入ったら長く使える

**LTSだから  
長期3年  
サポート!!**

## Takaoフォントの表示



▲TakaoフォントはIPAフォントの派生版で、コミュニティによってメンテナンスが行われている。今後多くのフリーOSで標準になるかも!

今回のリリースでは、フォント設定の見直しが行われた。「システム」・「システム管理」・「言語サポート」で、自動的に各国の言語事情に配慮した、新しいフォント設定が行われるようになった。日本語環境ではこれまでのフォントに代えて、「Takaoフォント」という新しいフォントが搭載されている。新デザインとセットで、画面デザインが完全に一新されたことになる。

**10.04 魅力 3**  
Lucid Lynx

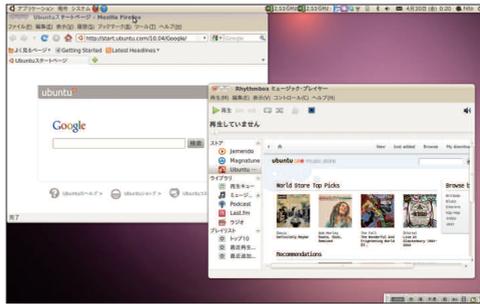
**フォント設定の見直しで  
よりキレイな環境に!**

**新しい  
フォント  
設定で  
字がキレイ!**

## Ambiance



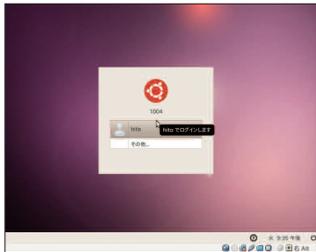
## Radiance



## 10.04 魅力 4

イメージ一新!  
新しいテーマで  
オシャレに  
なった!!

### ログイン画面も!



◆新しいデザインはログイン画面にも適用されている。

### トータルで変わった!



◆ウィンドウテーマだけでなく、使うアイコンなども大きく変化している。

ルすればOKだ。  
なお、ボタン配置が左に寄っているが、右側には10・10で「何か新しい機能」が追加される予定だ。これまでのテーマが使いいたい場合、「human-theme」と「gnome-human-icon-theme」をインストールすればOKだ。

10・04のもう一つの特徴は、「画面のテーマが変更されたこと」だ。これまでのUbuntuで使われてきた「Human」テーマから、新しい「Light」テーマの「Ambiance (薄明かり)」と「Radiance (かがやき)」という黒・白の2系統に変更された。これに併せて周辺デザインも一新、まったく新しい画面が待っている!

オレンジ色ベースから  
紫中心の新しいテーマに!

## MeMenu



◆EmpathyとGwibberを統合するMeMenu。空欄に文字を入力すると「つぶやく」ことが可能。

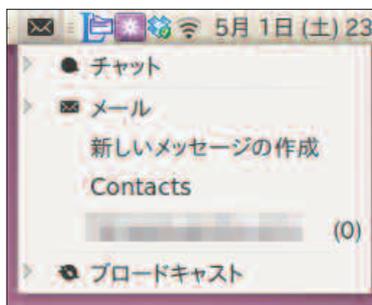
10・04では「Social From the Start」(ここから、みんながつながります)という方針が採用されている。これはICQやMSN・Google Talkなどの各種チャットをサポートする「Empathy」とTwitterなどの「つぶやき」系プロトコルクライアントである「Gwibber」を組み合わせて、「ほかの人とつながりやすくする」ものだ。この2つのアプリはデザインが共通化され、デスクトップからシームレスに扱えるようになっており、密接に連携するように調整されている。さらに「ログイン名」をクリック

◆メールやTwitterのリプライ・チャットセッションなどを一元管理するインジケータ機能。

## 10.04 魅力 5

みんなが  
つながる!  
ソーシャル  
アプリ

### インジケータ



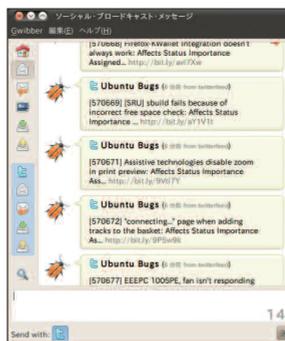
クすることで表示される「MeMenu」に機能を集約。ここからEmpathyやGwibberの設定を呼び出したり、「在席」などのチャットの状態を変更したり、Twitterなどに「つぶやく」ことができる。チャットを頻繁に使う人には特に便利な機能だ。また、チャットで呼び出しをかけられたり、Gwibber経由でリプライを受け取った場合(Twitter



◆Google TalkやMSNなど、各種チャットを統合して扱えるEmpathy。友達と話そう!

### Gwibber

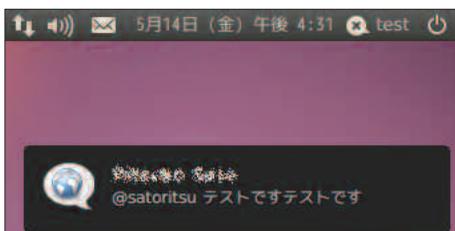
◆こちらはTwitterなどの「つぶやき」系サービスを統合できるクライアント。



terであれば「@」付きのメッセージが自分宛てに飛ばされた場合は、NotifyOSD経由で画面に通知(メッセージを表示)が行われ、デスクトップ上部の「インジケータ」(メールのアイコン)に蓄積されるようになっていく。このインジケータは「Windows」+「M」キーから呼び出せ、EmpathyやGwibber、メーラーを起動することが可能だ。

### OSDで画面につぶやき

◆Twitterの、自分に宛てられた@マーク付きつぶやきは、OSDで表示されるのだ。



## Netbook Edition



■「Netbook Edition」のダウンロード画面。専用のダウンロードリンクがあるあたり気合いが入っている。

10.04では、ネットブック向けUbuntuである「Netbook Remix」が、「Netbook Edition」という名前になった。Ubuntuでは「Remix（リミックス）」はコミュニティによる派生版、「Edition（エディション）」はCanonicalの支援を受けた「公式な」派生版、という区別がある。

端的にはエディションになると、多くの開発者が関わるようになり、新機能が搭載されやすくなる。今回のエディションには特大の新機能はないものの、「netbook-launcher-efl」という軽量版ランチャーが

## 10.04 魅力 6

### Remixから昇格してNetbook Editionに!!

### Netbook「Edition」になり、期待度アップ!

搭載され、AtomやARMが搭載されたマシンでもサクサク動くようにパワーアップしている。

また、ARM版についてはこれまでの「Marvell Armada (Dove) シリーズ」と「Freescale i.MXシリーズ」のサポートに加えて、クアルコムのQCM系チップとテキサスインスツルメンツのOMAP系チップへの対応が開始された。

近い将来、Android方面でもよく聞くあのチップを搭載したネットブックが出てくるかもしれない!

## netbook-launcher-efl



■こちらがefl版。サクサク動作のランチャーを使って作り直された。

## netbook-launcher



■おなじみNetbook Launcher。ネットブックの狭い画面でも操作しやすい。

## Nautilusのマルチペイン



■Nautilusを[F3]キーで左右に分割できるようになった。もちろんタブもサポートしている!

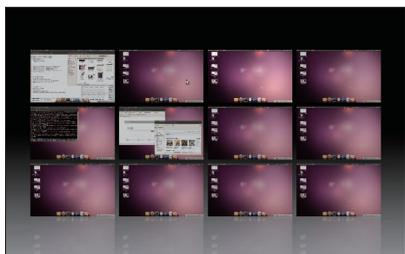
10.04では、GNOMEのバージョンが2.30に更新された。劇的な新機能はないものの、ファイルブラウザの「Nautilus」で「F3」キーによって複数ペイン表示にできたり、「リモートデスクトップビュー」でSSHベースの接続が利用できるようになったりしている。また、実験的な機能ではあるものの、iPodやiPhoneを接続して「中身」を閲覧したり、転送が可能となったのも大きなポイントだ。UIMSで購入した楽曲をiPodに転送して楽しむのダ。

## 10.04 魅力 7

### GNOMEが新しくなってパワーアップ!

### 2.30になりGNOMEの機能がパワーアップ!

## デフォルトで使える!



■スケール表示が初めから使える。複数のワークスペース間でのウィンドウ切り替えにとっても便利だ。

今回のリリースから、Compiz（3Dデスクトップ）の設定や操作キーが整理され、より分かりやすく、使いやすい方向に調整が入っている。

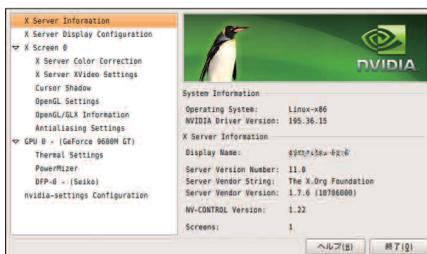
最大のポイントは、「Windows」+「A」キーで「スケール表示」がデフォルトで行えるようになったことだろう。Macのエクスポゼ風のウィンドウ選択が設定なしで使えるのダ。操作だけでなく、エフェクトの効果時間なども調整されたため、体感速度のサクサクさもより一層パワーアップしているのぞ。

## 10.04 魅力 8

### Compizの設定と操作キーが整理された!

### 3Dデスクトップがよりカンタンな操作に!

## プロプラとはサヨナラ!?



■NVIDIAユーザーにはおなじみのX Server設定画面。今後はこれに頼らなくなるかも!

Ubuntuの魅力の一つは各種ハードウェアのドライバもカンタンにインストールできることだろう。今回も目立たないながら、様々なパワーアップが図られている。とくにNVIDIA製GPUで利用されるオープンソースドライバ「nouveau（ヌーヴォー）」が追加されたのは大きい。残念ながらまだ3D関連の機能はサポートされていないが、ハードウェア・ドライバを呼び出してプロプライエタリドライバをインストールしなくても2Dは十分な速度で動作してくれるはずだ。

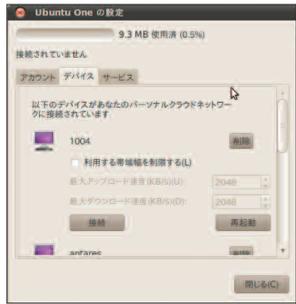
## 10.04 魅力 9

### ドライバの対応もさらにパワーアップ!

### 各種ドライバの更新とNouveauの追加!

# 10.04 Lucid Lynx の魅力を大解剖

## Ubuntu Oneの管理画面



■複数のマシンからUbuntu Oneを利用することが前提になった管理画面。

9.10で導入された個人用クラウドストレージ「Ubuntu One」も大きくパワーアップしている。今回からFirefoxのブックマークやTomboyのメモ、アドレス帳のiPhoneへの同期（これは有償契約が必要）、Gwibberのログの同期など、便利な機能がサポートされる。単なるストレージとしての機能から、「複数のデスクトップでUbuntuの設定を同期する」ための機能へ一歩進んだと言えるだろう。複数のUbuntuマシンの使うなら超オススメだ。

## クラウドストレージに音楽ファイルがやってくる！

## 10.04 魅力 10 Lucid Lynx Ubuntu One 新サービス 音楽も 楽しめる!!

さらに今回から、「Ubuntu One Music Store (U1MS)」というオンラインミュージックストアも開始された。ここから入手できる音楽ファイルはMP3で、かつ192Kbps以上の比較的高音質のエンコードとなっている。なによりも大きな魅力は、DRMがかかっていないこと。好きな音楽プレイヤーで聞くことが可能だ。ユーロ建てかつクレジットカード決済になるものの、日本からも様々な音楽が購入可能だ。

## ミュージックストアもオープン！



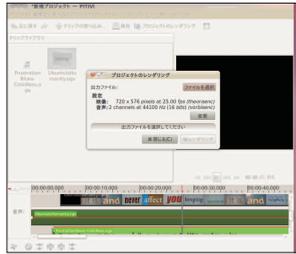
U1MSで楽曲を購入すると、自動的にUbuntu One上に保存される。所有するすべてのマシンから購入した音楽が楽しめるのだ。

## Rhythmboxにも統合！



■Ubuntu標準の音楽プレイヤー、RhythmboxからU1MSに直接つながるようになっていいる。

## PiTiVi



■簡易ビデオ編集ツールであるPiTiVi。動画を切り貼りして音楽を付けることに特化したソフトだ。

## ソフトウェアセンター



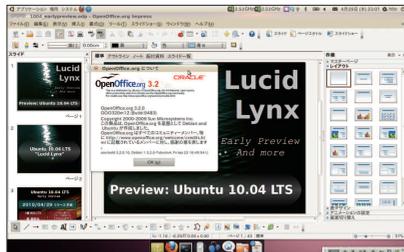
■ソフトのインストール・アンインストールの秘密兵器がさらに使いやすく。GUIでサクサク追加・削除できるぞ。

Ubuntuでは「Ubuntuそのもののバージョン」が新しくならないと、含まれているソフトウェアも更新されない。9.10から10.04へのバージョンアップによって、

## 10.04 魅力 11 Lucid Lynx 新しいバージョンの 標準アプリが使える！ 標準アプリ がどどーんと 新しく!!

新しいバージョンの標準アプリが使える！

## OpenOffice.org 3.2



■おなじみのオフィススイート。今回から起動ロゴがSunを買収したOracleのものに更新されていたりする。

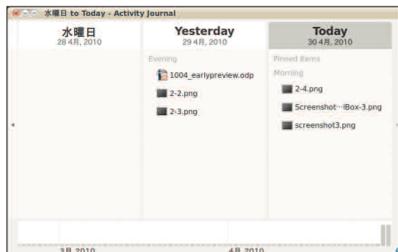


## Firefox 3.6

■プラグインのチェック機能など新機能の追加のほか、体感できるくらい高速になっているはず。

その間にリリースされた各種ソフトウェアが一気にバージョンアップされている。Firefox 3.6やOpenOffice.org 3.2などのメジャーなソフトウェアをはじめとして、Ubuntuに含まれるほとんど全てのソフトウェアが新しいバージョンのものに更新されているのだ。また、GIMPの代わりに「PiTiVi」というビデオ編集ソフトウェアが追加されたり、デジタル画像管理ソフトの「F-Spot」上でそのまま画像が編集できるようなになったりと、基本的なソフトの更新も見逃せない。

## Gnome Activity Journal



■時系列に沿って「利用したファイル」を並べてくれる新機能。gnome-activity-journalを追加すれば使える。

10.10で採用される（かもしれない）GNOME 3.0のプレビュー的な機能である「GNOME Activity Journal」や「Ubuntu Software Center」の新バージョンと新デザイン投入、スキャンソフトである「simple-scan」の追加なども大きな変化だ。また、9.10で行われた100個の「小さなバグ」をつぶす「Hundred Papercuts」プロジェクトは今回も行われており、細かな部分で使い勝手を損ねる問題も減っている。10.04はUbuntu史上最高のリリースとなっているはずだ！

## 10.04 魅力 12 Lucid Lynx 新ソフトや 新バージョンが いっぱい！ 便利な機能が バンバン 追加された!!